

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	観光名所（職員）	来客数の動き	・施設利用者数は、3か月前の平成18年8月は前年同月比で99.1%、今月は11月24日現在で104.4%である。沖縄への入域観光客数も前年同月より増加していると見込まれる。来園者は、修学旅行、一般団体が中心である。
	やや良くなっている	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・年末の地上デジタル放送に向けて、販売における大型テレビの比率が上がってきている。ただし、テレビの販売が伸びることで冷蔵庫が不振になっている可能性がある。
		観光型ホテル（総支配人）	販売量の動き	・宿泊人数及び客単価は前年同月比で3%下がっているが、総売上は7%増加している。特に婚礼を中心としたバンケット部門が好調で、18%増加している。
		通信会社（店長）	来客数の動き	・携帯電話業界の競争が活発化し、それに伴い客の動きも活発化している。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・需要が増えている。
	変わらない	コンビニ（エリア担当）	客の様子	・客の購入単価が明らかに下落している。例えば弁当から大盛りのカップラーメンへの移行など、少しでも安くなるようにする傾向がよくみられる。また、このところ酒の売上が前年を大きく下回っている。考えられる要因として、飲酒運転の取締り強化もある。
		その他専門店〔書籍〕（店長）	客の様子	・客の商品を選ぶ目が厳しくなってきている。必要最低限の物しか購入しない客が増えている。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・例年に比べ地元客は微増しており、観光客は例年並みである。新規店舗はかなりの来客数であるが、既存店は遅い時間の来客数が厳しい。
		観光型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・他の地域に比較すると良いといわれる沖縄でも、来客数の伸びが落ちている。
	やや悪くなっている	一般小売店〔衣料品・雑貨〕（経営者）	単価の動き	・売上は前年同月比で82%である。来客数は例年どおりだが、リピーターの増加による客単価の下落が要因である。今後は新商品開発の強化が必要である。
百貨店（担当者）		販売量の動き	・天候の影響を強く受けている。月初めこそ前年と比較して気温が低く、主力衣料を中心に好調に推移したが、月中から月末にかけて気温が下がらず、秋冬衣料が苦戦している。特に紳士、子供服等の実用衣料の苦戦が顕著である。全体的に買上客数も減少傾向である。	
スーパー（企画担当）		来客数の動き	・3か月前の来客数は前年を上回って好調に推移していた。しかし今月は来客数が前年を下回り低調に推移しているため、景気はやや悪くなっている。	
その他専門店〔楽器〕（経営者）		販売量の動き	・全体の売上が前年比で10%以上の落ち込みが続いている。	
高級レストラン（営業担当）		販売量の動き	・8月における前年同月比と、11月における前年同月比を比較すると減少している。	
悪くなっている		-	-	-
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	建設業（経営者）	取引先の様子	・リフォームの受注単価が高額になっている。
		会計事務所（所長）	取引先の様子	・一部の保険代理店では契約数の増加、契約金額の増額がみられる。
	変わらない	輸送業（営業・運営担当）	受注量や販売量の動き	・景気の回復する兆しはみられるものの、現時点では直接的に影響がある状況に至っておらず、受注量・販売量は横ばい状態である。
		通信業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注量はコンスタントにあるが、値引き率が大きくなる傾向がある。
コピー業（代表者）		受注量や販売量の動き	・今月は一般客の売上が悪く、11月の沖縄県知事選でその分カバーができるかと期待をしていたが、実際にはそれほど売上が伸びていない。	

	やや悪くなっている			
	悪くなっている	-	-	-
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	学校 [ 専門学校 ] ( 就職担当 )	求人数の動き	・前年の年末と比較して、求人数が増加している。
	変わらない	学校 [ 大学 ] ( 就職担当 )	求人数の動き	・前年と比較すると、求人数が減少している。また、求人については新卒のみの募集から、数を絞り込んだ即戦力への採用方針の転換がみられる。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社 ( 営業担当 )	求人数の動き	・求人数の動向が、下降気味に推移している。人材が採用できず求人募集を控えている傾向もある。
	悪くなっている	-	-	-